

2021年6月1日

## 情報公開文書

「長門市の壮年・高齢期における腸内フローラ組成を指標とした健康づくりに関する実態調査」にご協力を頂いた皆さまへ

表題の研究計画「長門市の壮年・高齢期における腸内フローラ組成を指標とした健康づくりに関する実態調査」にご提供頂いた試料や情報を、長瀬産業株式会社へ提供し、抗酸化物質などを分析し、加齢や健康状態との関連に関する解析を行うことを計画しております。その概要を記載いたしますので、ご質問・ご相談等がございます場合、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。ご自身が提供された情報などを提供してほしくないと思われた場合にも、お問い合わせ先までお申し出ください。提供者ご本人あるいはその代理人からお申し出いただいた場合は、情報を提供いたしません。

### 1. 研究課題名

長門市の壮年・高齢期における腸内フローラ組成を指標とした健康づくりに関する実態調査

### 2. 研究責任者

國澤 純：医薬基盤・健康・栄養研究所 ワクチンマテリアルプロジェクト・プロジェクトリーダー

### 3. 本研究課題の目的

山口県長門市では「ながと健幸百寿プロジェクト」が設置され、重点課題として「健幸づくり」に取り組むことが表明されています。このプロジェクトの一環として、腸内フローラ調査、血液検査、および食・生活習慣調査を行い、年齢や食・生活習慣による腸内フローラ組成（お腹に住む菌）の実態や特徴、血液検査結果と腸内フローラ組成との関連を把握することを目的としています。さらに、65歳以上の方については、上記調査に加えて、認知機能評価を実施させて頂き、認知機能と腸内フローラ組成および食・生活習慣の関連について併せて検討します。これにより、生活習慣病予防対策と食行動の検討や腸内フローラ組成の特徴など、長門市に必要とされる健康支援に関わる課題を抽出できると期待しています。

我々の腸管に数百種類の細菌が生息しており、腸内細菌叢（腸内フローラ）と呼ばれています。この腸内にいる細菌には様々な働きがあることが明らかになってきており、病気を増悪する、もしくは予防するなど我々の健康状態と深く関わっていることが明らかになってきています。認知機能と腸内フローラの関係は最近注目を集めていますが、まだ科学的な情報は十分ではなく、特に人を対象とした調査研究は学術的にも非常に有意義なものとなります。

### 4. 対象となる方の試料の収集期間および研究期間

2021年1月から現在までの期間に「長門市の壮年・高齢期における腸内フローラ組成を指標とした健

康づくりに関する実態調査」(研究期間：2020年11月～2025年3月)にご同意いただいた方から収集した試料と情報を研究対象とします。

## 5. 長瀬産業株式会社との共同研究の目的と方法について

腸内細菌は認知機能を含めて我々の健康状態や様々な病気と関連していることが明らかになってきています。研究が進む中で、腸内細菌が産生する代謝物が我々の身体に作用していることが明らかになってきました。長瀬産業株式会社はライフ&ヘルスケア製品事業部をもち、美と健康への貢献を念頭に人々の健康で豊かな生活をサポートするための製品の開発に取り組んでいる企業です。研究の面では、抗酸化物質などに関する高い分析技術を有していることから、長瀬産業株式会社と協力して、腸内細菌や生活習慣と健康(認知機能など)を繋ぐ科学的なメカニズムを解明したいと考えております。この共同研究は、「ながと健幸百寿プロジェクト」における「健幸づくり」を推進するものであり、将来的に、生活習慣病予防対策などへ貢献できるものであると期待できます。

そのため、皆様からご提供頂いた試料(血液など)を長瀬産業株式会社へ提供し、抗酸化物質などの代謝物を分析します。さらに、この分析結果やその他の情報(健康診断結果やアンケート情報、腸内細菌の分析データなど)を医薬基盤・健康・栄養研究所、山口県立大学、長瀬産業株式会社で共有し、その関連性などについて解析します。ただし、個人を特定できる情報は長瀬産業株式会社へは一切提供しません。また、本研究を長瀬産業株式会社で実施するにあたり、長瀬産業株式会社で研究倫理審査を受けて機関長の許可を得て実施します。

## 6. お問い合わせ先

医薬基盤・健康・栄養研究所 ワクチンマテリアルプロジェクト

國澤 純

〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ 7-6-8

電話 072-641-9871